

日本バングラデシュ友好協力会

日本バングラデシュ友好協力会(JBCS)を設立して今年で20周年を迎えました。6月28日(日)に「20周年記念フェスタ ～手と手をつないで20年～ アイチホスピタルの歩み」を開催いたしました。名古屋国際センター第1会議室に70名あまりのご参加を頂き、Dr.ホセインからは設立当時のことから現在のアイチホスピタル等々の様子について、感謝をこめてプレゼンがありました。又、今回のネパールの大地震へは直ちに救援医療団を組み、救助活動を行ったことも報告をしてくれ感激いたしました。

20年前、バングラデシュからの名大医学部留学生モアゼム・ホセインの「母国の貧しい子供たちが治療を受けられる病院を作りたい」との呼び掛けに賛同した方々で会を立ち上げ、多くの寄付が集まりました。設立1年目に彼の個人病院としてバングラデ

シュの首都ダッカ・ウットラ地区に「アイチホスピタル」(愛知県下の方々からの寄付金で開業ができたのでこの名前を付けました)が開業でき、その後もDr.ホセインの頑張りによって病院の知名度を高め、たくさんの支援者を得ました。そして現在、イースト・ウエスト医科大学、附属病院、歯科大学、看護大学を設立し、1つのキャンパス内での医療施設が出来たのはバングラデシュで

ここが初めてとのこと、彼の誇りでもあります。ここまで来ることができたことを振り返ってみますと、バングラデシュと日本が互いに立場を大事にして連携を取り、信頼関係を築いてきたことです。多くの両国の方々に支えられて、バングラデシュの医療環境の向上と、見えてくる現実の成果への感動と満足感が、長く続けてこれた結果かと思えます。

(事務局 松井佳子)



ネパール大地震の救援活動

日本バングラデシュ友好協力会
(J.B.C.S.)

〒466-0844 名古屋市昭和区荒田町 1-27-2 松井方 TEL& FAX: 052-852-3906
E-mail: matsuiyoshiko@pop07.odn.ne.jp URL: <http://www.jbcs-aichi.com/>